

議会報告会における市民要望等に係る  
総務消防委員会での調査結果について

広報広聴委員会が取りまとめた「議会報告会で寄せられた意見・要望等について（報告）」中、B区分について、総務消防委員会の所管事務調査として検討した結果、このほど調査結果の報告がありましたので、その内容をお知らせします。

要望事項（B区分）及び調査結果

■総務消防委員会（調査日：平成27年12月14日）		
No.	要望事項	調査結果（理事者回答）
1	マイナンバー制度の内容が良く分かる説明チラシを作成してほしい。また、説明会を開催してもらいたい。	<p>現在、国の作成したマイナンバー制度に関するパンフレットを市民課及び出張所に設置するとともに、これまでも広報紙やホームページ上でも周知をしているところである。</p> <p>また、11月には市民課市民係に個人番号通知カードに関する問い合わせ専用の電話を設置したほか、広報さかいで12月号においても通知カード受け取り後の手続きに関する記事を掲載している。</p> <p>説明会に関しては、市民からの要望が多くないことから、現在のところ開催する予定はなく、今後も引き続き広報紙及びホームページにおいて適宜周知していく。</p>
2	岩黒島では路線バスの停留所が橋上にあるために、集落から徒歩でかなりの時間がかかり、高齢者には非常に利便性が悪い。市内循環バスのような車両（小型低床型）を導入してもらえれば、3	<p>現在児島・与島間でバスを運行している業者に問い合わせを行ったところ、岩黒島への入島ゲートは坂出方面への路線にのみ設置されており、岩黒島へ乗り入れて児島方面へ向かうためには櫃石島、与島でそれぞれ折り返す必要があること、現在は乗務員1名で1日6往復という運行形態であり、乗り入れによる運行距離、時間の延長が困難であること、橋上では立ったままの乗車ができないことから、小型車両では多数の乗客を乗せることができず、場合によっては乗車を制限する可能性があること、また乗り入れのために新規に小型車両を購入することは困難であるとの回答があった。</p>

<p>島とも島内に乗り入れることができるので大変有り難い。</p> <p>琴参バスと下電バスは与島で乗り換える必要があり、岩黒島の利用者は大変不便である。また、与島での待ち時間が長い時は30分もあり、トイレも遠いことから、バス停の位置をトイレ近辺に変更してほしい。</p>	<p>実現に向けて解決すべき点が多くあるが、引き続き運業者と望ましい運行形態について協議をしていく。</p> <p>与島での乗り換えについては、瀬戸大橋フィッシャーマンズワーフ前を含め3つの停留所で乗り換えが可能であるが、いずれもトイレが遠方にあり利用者に不便をきたしていることは承知している。</p> <p>過去にも停留所の移設について本州四国連絡高速道路㈱と協議し、断られた経緯もあるが、今後も3島の利用者の意見を聞きながら関係機関とともに検討を続けていく。</p>
--	---